

2026年度 外国語学習の手引き

英語

初修外国語（ドイツ語 フランス語 中国語 韓国・朝鮮語）

Welcome !

Herzlich Willkommen !

Bienvenue !

热烈欢迎！

어서 오십시오

大 谷 大 学

（2025年10月 改訂）

は じ め に

他の言葉を知らない人は、自分の言葉さえ知っていない。

これはドイツの偉大な詩人ヨーハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテの格言です。私たちは自分の生まれたところで使われている言葉を知らず知らずのうちに身につけ、その言葉（母語）でもって考え生活しています。しかし、普段は自分の言葉について反省などしませんから、思考や行動や意志の発動の仕方までもが、自分の言葉のもっている法則や構造などに限定され制限されていることには、考え至りません。

私たちが普段使っている言葉によって限定され制限されていた状態から解放されるのは、他の言葉に出会い、別の言葉という鏡に自分の言葉を照らし出してみた時です。そうして初めて、広大な世界へと自分の思考や行動を向けていくことができるのです。言葉は文化の根本現象ですから、言葉について言えることは一切の文化現象についても言えます。自己を知るためには自己だけを見つめるのではなく、自己から一歩踏み出して他へと向かわなければならないのです。新しい言葉を習うことの重要性がここにあるのです。

自分の本当の姿を知ることとは誰にとっても必ずしも容易なことではないのと同様、自分の言葉を批判的に知るための鏡となる他の言葉を習得するのは、決して容易ではありません。しかし、困難なことに敢えて挑戦してこれを乗り越えていこうとすることこそ、青春に与えられた特権ではないでしょうか。自ら進んで広く大きな世界に旅立ち、力を尽して自己発見の道と一緒に歩んで行こうではありませんか。その途上で私たちは世界中の過去と現在の偉大な先輩たちに出会い、共に未来をも語らうことができるのです。

以下においては、共通基礎科目外国語とその発展学習について述べますが、学科においても重要な外国語科目が開講されていることがあります。

目 次

I. はじめに	-----	1
II. 本学における外国語教育について		
1. 共通基礎科目外国語	-----	3
2. 国際交流科目 / 海外語学・文化研修	-----	9
3. 留学制度	-----	10
III. 各外国語の学び方と授業		
1. 英 語	-----	11
2. ドイツ語	-----	14
3. フランス語	-----	18
4. 中国語	-----	22
5. 韓国・朝鮮語	-----	27
6. 視聴覚教材利用のすすめ	-----	32
IV. 語学学習支援室（GLOBAL SQUARE）利用のすすめ	-----	33

Ⅱ．本学における外国語教育について

1．共通基礎科目外国語

<必修外国語>

1) 必修外国語とは

本学では、グローバル社会で活躍できる人物の育成をめざし、第1学年と第2学年において必修科目として外国語科目の受講を全員に課しています。外国語を修得することによって、

- ①異文化に触れ、幅広いものの見方を身につける
- ②専門の学問研究のため、基礎的学力を身につける

ことができるようになります。

必修外国語は、「英語」と「初修外国語」で構成されており、第1学年・第2学年においてそれぞれ週2回ずつ受講します。「初修外国語」は、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語の中から、入学手続き時に申請した語学を1つ履修します。（**初修外国語の種類を変更することは一切できません**）

また、必修外国語は、履修すべきクラスを指定しています。

なお、所属学部によって、外国語科目の履修単位数が異なりますので、以下の内容をしっかり確認してください。

2) 外国語Ⅰ

科目名称		履修学年	文学部	社会学部	教育学部	国際学部
外国語Ⅰ	英語Ⅰ	第1学年	4単位 【必修】	4単位 【必修】	4単位 【必修】	4単位 【必修】
	初修外国語Ⅰ		4単位 【必修】	0単位以上 【履修可能】	0単位以上 【履修可能】	4単位 【必修】

*【文学部・国際学部】

英語・初修外国語のどちらも履修が必要です。

*【社会学部・教育学部】

英語のみ履修が必要です。ただし、入学前に希望した者については、初修外国語の履修が可能となります（あらかじめクラス指定を行っています）。

3) 外国語Ⅱ

科目名称		履修学年	文学部	社会学部	教育学部		国際学部
					初等教育 コース	幼児教育 コース	
外国語Ⅱ	英語Ⅱ	第2学年	4単位 【どちらか 必修】	4単位 【必修】	4単位 【必修】	— 【履修不可】	4単位 【どちらか 必修】
	初修外国語Ⅱ			0単位以上 【履修可能】	0単位以上 【履修可能】	— 【履修不可】	

＊【文学部・国際学部】

第1学年時に、英語重点型と初修外国語重点型のどちらかを選択します。

英語重点型を選択した場合は英語を（この場合初修外国語は履修できません）、初修外国語重点型を選択した場合は初修外国語を（この場合英語は履修できません）履修します。

なお、初修外国語重点型を選択した場合、履修できる語学は入学前に申請した（第1学年時に履修した）語学となります。

＊【社会学部・教育学部初等教育コース】

第1学年で初修外国語を履修した学生のみ、第2学年のクラスを履修することが可能となります（第1学年で履修を希望していない学生が、第2学年から履修し始めることは一切できません）。また、第1学年のみで初修外国語の履修を終えることも可能です。

なお、第2学年で初修外国語を履修する場合、履修できる語学は入学前に申請した（第1学年時に履修した）語学となります。

※教育学科幼児教育コース（2022年度以降入学生）について、外国語Ⅱ（英語Ⅱ・初修外国語Ⅱ）は履修不可となります。

4）初修外国語の選択について

英語はすでに中学・高校で学習されている既修外国語で、主としてイギリス・アメリカ・オーストラリアなどで話されている地域の言葉という面があると同時に、他方では、事実上世界の共通語としてもっとも有力な言葉という面をもっています。この二つの理由から、本学では、第1学年時には全員が英語を履修することになっています。

英語以外に学べる初修外国語として開講されているのは、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語の四つです。学んだことのない言葉を学ぶことで、スキルや知識が増えるだけでなく、異文化への理解が深まり、世界で行ってみたい国や言葉を交わせる相手も増えます。ぜひ積極的に挑戦し、自分の世界を広げてみましょう。

みなさんが初修外国語を選択するための指針ないしは留意点を次に挙げておきます。

① 自分が学習したいと思う言葉を選ぶ。

初修外国語は新入生のみなさんにとって、はじめて出会う言語であるはずです。言語は世界への扉であり、自分の価値観や経験を広げてくれます。外国語を学習して成長した自分をイメージしながら、純粋に自分にとって関心のある外国語はなにかを考えてみましょう。外国語を学ぶことのできる機会を十分に活かしてください。

② 第2学年以降のコースとの関連で選ぶ。

コース・ゼミ選択後の学習や研究において、履修しておくに役立つ語学を各学科で推奨しています（下記の表）。語学選択時の参考にしてください。また、各自の研究計画に合わせて語学選択をすることも重要です。たとえば、フランス文化や文学を研究したい人は「フランス語」を履修するのが望ましいといったように、各自の研究と関係する言語が何であるか検討してください。その際には直接的な関係性だけでなく、広い視野にたってみることも必要です。たとえば、現代社会の問題を考える際には「中国語」が、東アジアの歴史を考える際に「韓国・朝鮮語」が役に立つことがあります。

以上、これら二項目に留意し、初修外国語を選択するとよいでしょう。

下記の表は、各学科の学習内容を理解するために、学科として推奨する初修外国語を示したものです。参考にしてください。なお、選択を強制するものではありませんので、最終的には自分の興味・関心に応じて選択してください。

【学科が推奨する初修外国語】

学部	学科	コース	推奨する初修外国語
文学部	真宗学科	思想探究	いずれの語学でも可
		現代臨床	
		国際	
	仏教学科	仏教思想	いずれの語学でも可
		現代仏教	* 国際的知見を培うために、初修外国語には積極的に取り組んでもらいたい。
	哲学科	哲学・西洋思想	ドイツ語、フランス語
		心理学・人間関係学	
		倫理学・公共哲学	
		宗教学・死生学	
	歴史学科	日本史	いずれの語学でも可 * 自分が将来学んでみたいテーマや地域を考慮し、関連性の高い言語を選択するとよいでしょう。
		世界史	
		歴史ミュージアム	
		京都探究	
	文学科	日本文学	いずれの語学でも可
		現代文芸	* 但し、中国文学を学ぶうえでは中国語の選択が望ましい。
国際学部	国際文化学科	英語コミュニケーション	いずれの語学でも可
		欧米文化	英米文化：いずれの語学でも可 ドイツ、フランス文化：ドイツ語、フランス語
		韓国・朝鮮文化	韓国・朝鮮語
		中国文化	中国語
		* ただし、志望分野に関わる言語の既修者はいずれの語学でも可。なお、2年次のコース選択時に、各ゼミの受入状況によっては初修外国語（変更不可）とは異なる地域文化を専攻することも可能	

＜選択外国語＞

1) 選択外国語とは

選択外国語は、語学力を高めるとともに、多様な文化への理解や国際的なコミュニケーション能力を養うことを目的に構成されています。

選択外国語では、初修外国語として選択した言語以外にも履修可能であり、全学部において、自身の目的や興味・関心に応じて自由に履修することができます。

開講科目は、科目の種類とレベルの定義を次のとおり設定しています。また、みなさんの興味・関心等に応じた履修ができるよう、それぞれの科目の目的・内容に応じて、開講科目を5つのテーマに分類していますので、履修の際の参考としてください（詳細については、「4）テーマについて」を参照してください）。なお、科目の内容によっては、複数のテーマにまたがって記載されている場合もあります。

2) 科目の種類

各語学における1単位で開講している科目の種類を以下の5種類に統一しています。また、それ以外にも週に2回以上履修する科目や、語学研修科目も開講しています。

「読解」 … 各語学における「読む力」を身につけることを目指す。

「会話」 … 各語学における「話す力」と「聴く力」を身につけることを目指す。

「作文」 … 英語における「書く力」を身につけることを目指す。

「文法」 … 英語における「文法」を身につけることを目指す。

「しくみと表現」 … 各語学における「書く力」と「文法」を中心とした「総合的な力」を身につけることを目指す。

3) レベルの定義

英語と初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語）に分けて、レベルの定義を分けて開講していますので、履修する際に参考にしてください。

			レベル定義
英語	中級	英語読解	時事英語や文化・社会に関するエッセイを正確に読む。
		英語会話	様々な状況下で使われる英語表現を学び、より正確に聞き、効果的に話す能力を身につける。
		英作文	自分の考えを断片的に書くのではなく、パラグラフ（段落）として書くにはどうすればよいかを学び、最終的にある程度のまとまった文章を書けるようにする。
		英文法	英文法の基本と応用。
	上級	英語読解	論理的・思索的・文学的文章を読み味わう。 (留学をめざす者、留学から帰国した者。または、「英検」※ ¹ 準1級、「TOEIC® LISTENING AND READING TEST」※ ² 720点または「TOEFL® TEST (iBT)」※ ³ 61点以上をめざす者。)
		英語会話	様々なテーマについて、自分の意見を英語で発表し、高度なコミュニケーション力を身につける。 (留学をめざす者、留学から帰国した者。または、「英検」準1級、「TOEIC® LISTENING AND READING TEST」720点または「TOEFL® TEST (iBT)」61点以上をめざす者。)
		英作文	手紙・履歴書・願書・ビジネスレターなどの異なる様式に沿った英文の書き方を学び、与えられたテーマに沿ったエッセイやストーリーの書き方を学ぶ。 (留学をめざす者、留学から帰国した者。または、「英検」準1級、「TOEIC® LISTENING AND READING TEST」720点または「TOEFL® TEST (iBT)」61点以上をめざす者。)
		英文法	言語学的アプローチによる一歩進んだ英文法。 (留学をめざす者、留学から帰国した者。または、「英検」準1級、「TOEIC® LISTENING AND READING TEST」720点または「TOEFL® TEST (iBT)」61点以上をめざす者。)
ドイツ語	初級		ドイツ語をはじめて学ぶ者、または基礎から復習したい者。
	中級		ドイツ語を学んだ経験があり、さらに基礎力を伸ばしたい者。 あるいは、「独検」※ ⁴ 3級、「Goethe Zertifikat」※ ⁵ A1 または「ÖSD」※ ⁶ A1 以上をめざす者。
フランス語	初級		フランス語をはじめて学ぶ者、または基礎から復習したい者。
	中級		フランス語を学んだ経験があり、基本的なフランス語力を伸ばしたい者。 あるいは、「仏検」※ ⁷ 3級または「DELTA」※ ⁸ A1 以上をめざす者。
中国語	初級		中国語をはじめて学ぶ者、または基礎から復習したい者。 「中検」※ ⁹ 準4級～4級または「HSK」※ ¹⁰ 2級をめざす者。

	中級	中国語を学んだ経験があり、基本的な中国語力を伸ばしたい者。 「中検」4 級または「HSK」2 級以上をめざす者。
	上級	留学をめざす者、留学から帰国した者、 及び「中検」3 級または「HSK」3 級以上をめざす者。
韓国・朝鮮語	初級	韓国・朝鮮語をはじめて学ぶ者、または基礎から復習したい者。
	中級	韓国・朝鮮語を学んだ経験があり、「ハン検」※ ¹¹ 4 級以上または「TOPIK」※ ¹² 3 級以上をめざす者。
	上級	留学をめざす者、留学から帰国した者、及び「ハン検」3 級以上または「TOPIK」4 級 以上をめざす者。

各検定試験の詳細については、各自でホームページを参照すること。

※1 実用英語技能検定（英検）：公益財団法人日本英語検定協会が実施している検定試験。

1 級（上級）～ 5 級（初級）までの 7 段階が設けられている。

※2 TOEIC® LISTENING AND READING TEST: } この（印刷物／製品／ウェブサイト）は ETS の検討を受けまたは
 ※3 TOEFL® TEST (iBT) : } その承認を得たものではありません。

※4 ドイツ語技能検定試験（独検）：公益財団法人ドイツ語学文学振興会が実施している検定試験。

1 級（上級）～ 5 級（初級）までの 6 段階が設けられている。

※5 Goethe Zertifikat : Goethe-Institut が実施している検定試験。A1（初級）～ C2（上級）までの 6 段階が設けられている。

※6 オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験（ÖSD）：ÖSD が実施している検定試験。

A1（初級）～ C2（上級）までの 6 段階が設けられている。

※7 実用フランス語技能検定試験（仏検）：公益財団法人フランス語教育振興協会が実施している検定試験。1 級（上級）～ 5 級（初級）までの 7 段階が設けられている。

※8 Diplôme d'Études en Langue Française (DELF) : France Éducation International が実施している検定試験。A1（初級）～ C2（上級）までの 6 段階が設けられている。

※9 中国語検定試験（中検）：一般財団法人日本中国語検定協会が実施している検定試験。

※10 漢語水平考試（HSK）：中国政府教育部孔子学院総部／国家漢語辦公室が実施している検定試験。1 級（初級）～ 6 級（上級）までの 6 段階が設けられている。

※11 「ハングル」能力検定試験（ハン検）：ハングル能力検定協会が実施している検定試験。1 級（上級）～ 5 級（初級）までの 6 段階が設けられている。

※12 韓国語能力検定試験（TOPIK）：公益財団法人韓国教育財団が実施している検定試験。1 級（初級）～ 6 級（上級）までの 6 段階が設けられている。

4) テーマについて

① 実用会話（旅行、観光、ビジネス）

旅行、観光、ビジネスで外国語を利用したいと考えているみなさんに受講してほしい科目です。これらの科目をきっかけにして、実用的な語学力を伸ばしましょう。

② 文化・社会（新聞、インターネット、音楽）

さまざまなメディアを通じて生きた語学に触れたいと考えているみなさんに受講してほしい科目です。SNS やストーリーミング配信など、インターネットを通じて外国の文化にふれるチャンスは圧倒的に増えました。文化と社会を学ぶことは語学学習をより一層深めることにつながります。

③ 検定対策

各種の語学能力検定試験を受験しようと考えているみなさんに受講してほしい科目です。毎年多くの人が外国語の検定試験を受験していますが、そこで必要とされるスキルや知識を身につけるのに役立ちます。

④ アカデミック

ゼミの発表やレポート、卒業研究作成のため、外国語を学びたいみなさんに受講してほしい科目です。初級文法の復習に加えて中級文法を学ぶことで、文章を正確に読めるようになることを目指します。

⑤ 留学

異文化理解、特に留学を考えているみなさんに受講してほしい科目です。留学は大学で学んだ外国語を現地で実践するプログラムで、語学研修や長期留学の制度があります。外国の文化や風俗・習慣に慣れ親しみ、世界とのつながりの中で自分を成長させていく絶好のチャンスです。

5) 外国語技能検定試験の級位や得点に応じた単位認定制度について

本学では、TOEICやTOEFL、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語の技能検定試験等の級位や得点に応じた単位認定制度を設けています。詳細は、履修要項を確認してください。

2. 国際交流科目／海外語学・文化研修

1 カ月程度の海外語学研修は、短いとはいえ非常に実行しやすく、大きな刺激になり、長期留学のためのよい準備体験ともなります。本学では「選択外国語」（国際学部は「実践研究」）の中に、カナダ、ニュージーランド、台湾、中国、韓国への「短期語学研修」（実践文化演習）があり、本学での事前講義と現地での語学研修を合わせて、2～4単位の科目として開講されています。

また、「ヨーロッパの宗教と文化」（国際学部は「実践文化演習 j（ヨーロッパ文化研修）」）では、ドイツ、フランスを中心とした文化研修が毎年交互に実施され、「中国の宗教と文化」（国際学部は「実践文化演習 1（中国文化研修）」）では中国における文化研修が実施されています。これらは語学研修を含みませんが、ドイツ語、フランス語、中国語学習への大きな刺激になるでしょう。他の海外地域を対象とする文化研修もあります。「海外文化研修」は、本学での事前講義と現地での文化研修とを合わせて2単位です。

語学研修・文化研修については4月初めのオリエンテーション期間中の「国際交流科目説明会」で詳細を説明しますので、希望する人は必ず参加してください。予備登録カードの締め切りまでに時間的余裕がありませんので、注意してください。

3. 留学制度

本学では、休学せずに本学に在学したままで、海外の大学に留学できる留学制度を設けています。留学期間(学部は6カ月又は1年)は本学の修業年数に算入され、海外留学中に修得した単位は帰国後、本学の卒業所要単位として認定されます。

留学先は、本学が学術交流協定を結んでいる大学を利用するか、あるいは自分で選択した大学に留学することもできます。留学制度に出願するには、一定の条件を満たす必要があります。留学を希望する場合は、できるだけ早くGLOBAL SQUARE (P33参照)に相談し、十分な準備期間を経た上で、出願できるように注意してください。詳しくは『留学の手引』を見てください。

Ⅲ. 各外国語の学び方と授業

1. 英 語

<目標>

大学で何を専攻するにせよ、英語は将来必ず必要になってきます。賢明な手順で発展性のある英語力をつけるためには、まず、中高6年間の英語学習の中で習得していない必須事項を点検しこれを習得することで基礎固めをしっかりとすることが大切です。

授業に出て卒業単位をとるだけでは練習量が足りず身につけません。納得できるまで自己学習することが必要です。英検2級は多くの人にとって可能な目標です。将来の仕事・専門研究・国際交流につなぐためには、さらに英検準1級の英語力を養ってほしいと思います。そのためには毎年4単位分以上の英語授業を4年間受けるだけでなく、積極的に自己学習することが必要です。『The Japan Times Alpha』等の英語学習週刊紙や月刊誌、検定試験教材等、継続学習教材は豊富です。

英語を仕事・専門研究・国際交流等に活かすためには、多大な学習量が必要です。実際にそれらの活動に英語を使用している人達が行った自己学習をも含む学習量は、単位数に換算すれば何十単位にもなるでしょう。日常の学習のみでなく、いつかは集中的研修も必要です。最終的には、英語を実際に使いながら、自分なりの学習を完成させることになるでしょう。

<英文法>

「英文法」というと堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、基礎的な文法の知識がなければ、それ以後の英語学習は空回りしてしまいます。学部第1学年の「英語(読解)」では、基礎的な文法事項の説明を加えながら、英文の理解を進めて行きます。授業だけではなく、自分で英文法書を読み、遅くとも第1学年の間に英文法の必須事項を正しく理解しておいてほしいと思います。英文法書は、高校生用とされているものが一生使えます。『ラーナーズ高校英語』(数研出版)、『総合英語エバーグリーン』(いizzな書店)、『アトラス総合英語』(ピアソン桐原)他いろいろ出ていますので、自分に合ったものが選べます。

<読解>

学部第1学年の2つの「英語Ⅰ」のうち1つは、論説、エッセイ、報道文などの「読解」の授業です。

読解の授業で使うテキストには、知らない単語がたくさん出てくるかもしれません。大学の英語読解授業では、未知の単語の意味は教師から与えてもらうのではなく、辞書と自分の読解力とを駆使して予習することが必要であり、予習が何よりの読解練習になるのです。

和訳を英語教師が要求するのは、皆さんが「着実に」英語の「構造」を理解して読んでいるかどうかを知るためです。単語を想像でつなぎ合わせると奇怪な和訳になってしまい、有害この上ありません。読解授業では精読によって読解力のレベルを上げることが主になりますが、そのレベルの読解力を自分のものにするには、まだ何倍もの読解練習をする必要があります。そうした多読練習によって、英文に対する感覚、すなわち、単語の意味を文脈の中で理解し、文の流れをより長いスパンで理解する能力、最終目標としての「英文のまま内容を理解する」力がついてくるのです。教材には300語レベルからの段階的読本もあります。

(例：ペンギンリーダーズ)

<総合>

学部第1学年のもう一つの「英語Ⅰ」は、「総合」という授業です。「総合」とは四技能総合の意味であり、中でも音声重視が独自の要素です。

ことばは元来、音声によるコミュニケーションのために発生しました。まず発音・聴き取りの弱点をできるだけ克服し、授業を積み重ねるほど発音・音読・聴解の力が上達するようにしたいものです。教科書付属のCDやダウンロードできる音声データがあるなら、必ず活用しましょう。不得意なところは自宅復習で繰り返し練習することが、力をつける秘訣です。短文・長文のリスニング教材や、英語音声学の観点から制作されたリスニング教材も市販されています。

<学力に応じた履修>

新入生の皆さんの英語力はさまざまであり、一様に教えることができない段階に入っています。全学部で入学までに英語のプレースメントテストをオンライン受験で実施し、その結果によってクラス編成をしています。また、文学部、社会学部、国際学部では希望者を対象に英語再入門クラスも設けています。英語力は、(a) 文法・読解・作文と、(b) 発音・聴解・スピーキングの二方面について見る必要があります。本学では英語クラスを(a)の学力によって編成しています。(b)の学力を自分の力に応じて伸ばすためには、選択外国語も履修しましょう。

<辞書の選び方>

皆さんの多くは、『ライトハウス英和辞典』（研究社）のような、高校生以上用学習英和辞典を使ってきたと思います。しかし収録語数がやや少ないため、大学の授業で出てくる単語を引いても見つけられないこともあるでしょう。そこで大学生から社会人でも役に立つクラスの学習英和辞典にも目を向けなければなりません。そのクラスの『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）、『新英和中辞典』（研究社）等を既に使っている人もいるでしょう。電子辞書を使う場合でもこのクラスの英語辞書が収納されているものを使用してほしいと思います。

上記のような中型までの辞書は、学術用語が豊富ではないため専門書を読むには適さない場合もあります。そのような時は、『リーダーズ英和辞典』（研究社）、『ジーニアス英和大辞典』（大修館書店）などを、図書館や研究室で引くようにしてください。和英の大型辞典には『新和英大辞典』（研究社）があります。

さて英語を学習する以上、英英辞典のほうがよくわかる、というレベルに早く達したいものです。英和辞典ではどうしても日本語の訳語にとらわれてしまいがちですが、英英辞典を使っていると英語のみによって語と語の関連の理解が育っていきます。英語学習者向けの英英辞典として『OXFORD現代英英辞典』『ロングマン現代英英辞典』、語義の示し方に新機軸を出した『コリンズコウビルド英語辞典』があり、アメリカ英語辞典もあります。これらは英和辞典同様に一般書店で販売されています。もっと易しい英英辞典も出版されており、それらを英英辞典入門用に使うのも楽しいものです。

最大級の英英辞典としては、イギリスの *The Oxford English Dictionary* (略称 *OED*)、アメリカの *Webster's Third New International Dictionary* (略称『ウェブスター第3版』)があります。これらの辞書はその編集・出版自体が文化的大事業であり、それらの出版経緯を物語る本が書かれている程です。

＜検定試験・海外研修のすすめ＞

大学での英語学習に身近で具体的な目標をもつことは大きな励みになります。学外で行われる検定試験を積極的に受けてみてはどうでしょう。自分の英語力を客観的に知り、人にもアピールできることは、対社会的にも必要なことです。

親しみ易い「英検」については、手始めに準2級を受け、2級を現実的な目標とし、卒業の頃には準1級を目指してほしいと思います。「英検」2級に合格したら企業が重視している TOEIC (Test of English for International Communication、トイーック)も対象にするとよいでしょう。自分のTOEICスコアを上げることは、就職対策としても非常に有効です。TOEICについては、選択外国語の「英語読解(上級)」と「英語読解(中級)」でTOEICのための授業を実施する他、キャリアセンターでも毎年、講習と学内特別試験(IP)を行っています。GLOBAL SQUARE では、語学検定試験料補助制度(一回につき1,000円分の図書カードまたは全額を、年2回まで補助)を設けています。また、E-learning教材の提供やネイティブ・スピーカーとの会話の時間等、語学力を高める機会を提供しています。積極的に活用しましょう。

教務課で扱っている短期の語学研修科目(Ⅱ章既述)で英語を内容とするものについては、「実践英語・文化研究」(国際学部では「実践文化演習f」)があります。春期休暇中にカナダまたはニュージーランドにおいて3週間余り行われます。本学での事前講義と現地での語学研修を合わせて4単位を修得することができます。対象学年は、最終学年を除く大学院・学部の学生です。参加資格には条件がありますので、詳しくは『履修要項』等で確認してください。

国際交流科目は、国際情勢その他の条件によっては開講されない場合もあります。参加希望者は必ず年度初めのオリエンテーション期間中に開かれる「国際交流科目説明会」に参加し、受講資格等を確認のうえ予備登録カードを提出してください。受講を希望する人は、第1学年から積極的に英会話クラスを履修しましょう。



《語学研修「実践英語・文化研究」/「実践文化演習f」》

２．ドイツ語

はじめてドイツ語を学ぶ皆さんはきっと不安な気持ちで一杯でしょう。ドイツ語は難しい、と先輩から聞いているかもしれませんね。でも心配は無用です。全員が同じスタート・ラインに立っているのですから。以下のヒントを参考にして学べば、ドイツ語が身近なものに感じられることでしょう。

<発音について>

ドイツ語の発音は、もちろん例外もありますが、基本的にはローマ字読みと同様で、最初の母音にアクセントがあると考えればよいでしょう。例えば「ありがとう」を意味するドイツ語 „danke“ は、[ダンケ]と発音します。

<文法について>

ドイツ語の文法は複雑だとしばしば言われます。しかし、これは必ずしも的を射ているとは言えません。なぜなら、ドイツ語の変化の大部分は、少数の基本的な変化（格変化や人称変化等）を応用したものだからです。みなさんはこれらの基本を主として前期で学ぶことになります。これらを暗唱できるほど習得すれば、複雑だと言われるドイツ語文法が、じつはきわめて整然としたものであることを理解することができるでしょう。外国語の学習で大事なことは反復です。反復の度合いが多ければ多いだけ、定着度が高まります。口頭および筆記による練習を繰り返して、基礎変化を暗唱できるようにしましょう。

<開講科目について>

共通基礎科目のドイツ語に加えて、選択外国語におけるネイティブ・スピーカーによる初級会話をはじめとして、基礎語学力の強化をはかる授業、あるいは読解力養成・強化に主眼を置いた授業、さらに西ヨーロッパドイツ語圏の文化的エッセンスにじかに触れる授業などが開講されています。会話力を集中して訓練したい方には、国際学部開講の「実践文化演習b（語学集中 ドイツ語）」の受講をおすすめします。また、正規の授業ではありませんが、GLOBAL SQUAREでもネイティブ・スピーカーとの会話機会が設けられています。あなたの興味と目的に応じて、心ゆくまでドイツ語圏のことばや文化を学んでください。

<辞書について>

ドイツ語の習得に独和辞典は不可欠です。ただし、独和辞典ならどれでもよいというわけではありません。自分の実力と目的に応じて使い分けるのがポイントです。

ドイツ語をはじめて学ぶ方には、初級用の辞書として以下のものをおすすめします。☆印のついたものは、発音がカタカナでも示されているものです。

- | | | | |
|---------------------|-------|------|-----------|
| ① ☆『アポロン独和辞典』 | (同学社) | 見出し語 | 約 53,000語 |
| ② ☆『アクセス独和辞典』 | (三修社) | 見出し語 | 約 73,500語 |
| ③ ☆『クラウン独和辞典』 (第5版) | (三省堂) | 見出し語 | 約 64,000語 |

ドイツ語の基礎を習得し、さらに力をつけたいという中級者には以下の辞書をおすすめします。

- | | | | |
|---------------|-------|------|-----------|
| ④ ☆『フロイデ独和辞典』 | (白水社) | 見出し語 | 約 75,500語 |
|---------------|-------|------|-----------|

⑤ ☆『独和辞典』

(郁文堂) 見出し語 約 110,000語

ドイツの思想や文化を専門的に学ぶ方、あるいは、大学院への進学を考えている方には、以下の辞書をおすすめします。

⑥ 『独和大辞典』 (コンパクト判) (小学館) 見出し語 約 160,000語

①の辞書は、初級者向けの辞書として定評のあるもので、和独をはじめとする巻末付録が充実しています。②の辞書は、電子辞書の定番でもあります。③の辞書には、発音学習に役立つCDが付いています。④の辞書は初心者にも中上級者にも使いやすいように工夫されています。⑤の辞書は定評のある中級の辞書です。⑥の辞書は、収録語彙がもっとも多いのが特徴です。

辞書にも相性があります。どの辞書を購入するにせよ、以上のアドバイスを念頭に置き、単語をいくつか選び出して、それらが上記の辞書ではどのように解説されているか、何冊か比較し、自分の好みに合うものを選びましょう。もちろんどんな立派な辞書を買っても、使わなくては宝のもちぐされ、「辞書を生かすも殺すもあなた次第」であることは言うまでもありません。

なお、和独辞典としては、次のようなものがありますが、ドイツ語に少し慣れてから購入しても決して遅くはないでしょう。

①『和独辞典』 (郁文堂)

②『アクセス和独辞典』 (三修社)

また、独独辞典としては次のものを利用するとよいでしょう。ドイツ語を外国語として学ぶ人のためのもので、みなさんにとっても使いやすいと思います。

Langenscheidt Großwörterbuch Deutsch als Fremdsprache

以上、辞典について簡単に解説しましたが、絶版などにより入手困難な辞書もあるかもしれません。その際は、古書店などを利用するとよいでしょう。

ところで、ドイツ語においては、文法を知らなければ辞書を十分に引きこなすことができません。そこで、独和辞典を使用するに際して、どのような点に注意すればよいのかを、以下に挙げておくことにしましょう。

(1) 辞典のはじめに記されている使用上の注意書きをよく読むこと。

(2) 見出し語は左の端にあるとは限らない。

例えば Stadt (都市) は左端にでてくるが、合成語の Stadtbewohner (市民) は、~bewohner としてなかほどに出てくる場合がある。

(3) 名詞の引き方 (名詞の語頭は大文字)

辞書を引いて出てこないときは、-e, -s, -n, -es, -en, -er, -ern の語尾があればそれを取ってみる。

(4) 動詞（助動詞）の引き方

動詞・助動詞は語幹に -en または -n が付いた形（不定詞）で出ている。しかし、実際の文章においては、-e, -st, -t, -en, -est, -et, -n, -te, -test, -ten, -tet の語尾が語幹についている（また大部分の過去分詞の語頭には ge がつく）。したがって、それらの語尾（あるいは語頭の ge）を取り除いて、-en または -n をつけて辞書を引くこと。

(5) 形容詞の引き方

形容詞は原級で出てくるが、名詞を修飾する時には、-e, -em, -en, -er, -es の語尾が原級に（比較級、最高級のときは -er, -st のあとに）つく。したがって、これらの語尾を取り除いた形で辞書を引くこと。

(6) 略号や記号をよく理解すること。

[m, f, n] [男, 女, 中] ; 名詞の性 (男性, 女性, 中性) を示す。

[et², et³, et⁴] [事², 事³, 事⁴] ; 事物の所有格 (2格)、与格 (3格)、対格 (4格) を示す。

[js, jm, jn] [人², 人³, 人⁴] ; 人の所有格 (2格)、与格 (3格)、対格 (4格) を示す。

[nom., gen., dat., acc.] ; 主格 (1格)、所有格 (2格)、与格 (3格)、対格 (4格) を示す。

例えば mit dat. とあれば、与格 (3格) と共にという意味である。

[*] : 動詞や形容詞の右肩について不規則変化であることを示す。従って、その動詞の過去 (基本形)、過去分詞は巻末の不規則動詞変化表を参照する。

<検定試験について>

力がついた段階でドイツ語検定試験にもチャレンジしてみましょう。ドイツ語にも英語と同様に「独検」(ドイツ語技能検定試験、詳細は、<http://www.dokken.or.jp/>を参照)があり、1級から5級までの段階が設けられています。また、ヨーロッパ共通基準の外国語検定として、„Start Deutsch“があります。これらのドイツ語検定試験のための特別な授業は設けられていませんが、選択外国語のドイツ語を積極的に受講することで、その対策をたてることは可能です。GLOBAL SQUAREでは検定試験料を補助する制度もあります。受験の方法など詳しいことについてはドイツ語教師に遠慮なく相談してください。

<研修旅行について>

身についたドイツ語を実際に使用する機会として、「現代総合科目 歴史文化系」で開講されているヨーロッパ文化研修「ヨーロッパの宗教と文化 (ドイツ)」(国際学部では「実践文化演習j」)があります。この授業には語学研修は含まれていませんが、事前講義と現地での文化研修で2単位が修得できます。ドイツ語ばかりではなく、ドイツ語圏の文化に直接触れられる良い機会でもあります。この研修は、ドイツ語圏とフランス語圏が隔年に開講されますので、『履修要項』や4月初めのオリエンテーション期間に実施され

る「国際交流科目説明会」で確認してください。



《文化研修「ヨーロッパの宗教と文化研修（ドイツ）」 / 「実践文化演習 j」》

3. フランス語

フランス語はフランスだけでなく、スイス、ベルギー、モナコ公国、カナダのケベック州、セネガル、コンゴなどのアフリカ諸国、タヒチなど南太平洋でも話されています。

また、フランス語は、イタリア語やスペイン語などと同じくラテン語からできたロマンス諸語の一つなので、フランス語を習得していれば、イタリア語やスペイン語の学習に進むことも容易になります。

さらに、フランス語の語彙は英語にもたくさん取り入れられていますから、フランス語の学習は間接的に英語力を伸ばすことにも役立つでしょう。

フランス語を学ぶことで広がる可能性については、『フランス語で広がる世界－123人の仲間－』（駿河台出版社）に書かれています。将来の自分をイメージできれば、学習効果も大いに上がることでしょう。

<開講科目について>

共通基礎科目のフランス語の他に、ネイティブ・スピーカーの会話を中心にした授業、文法を中心に行う授業、読解を中心に行う授業など、さまざまな科目が設置されています。それらの科目も積極的に受講することをおすすめします。

<発音について>

フランス語では、綴字と音の間に一定の規則があり、英語と違って発音にはほとんど例外がありません。また、必ずしも褒められたことではありませんが、カタカナ式発音をしても通じないわけではなく、フランス語の発音は英語の発音より易しいといえます。

綴字と発音との法則を早く覚えて、予習の段階から積極的に音読することが効果的です。フランス語では、発音上の都合が文法に影響することも少なくないので、発音をきちんとマスターすれば文法の理解がずっと容易になるはずです。

<文法について>

文法というと毛嫌いする人が多いのですが、文法とは読解や筆記だけでなく、話せるようになるためにも欠くことのできない基本的な知識です。フランス語では辞書を引くにも最小限の文法知識が必要となります。

文法では、動詞の活用が難しいとよく言われますが、フランス語動詞の95%までが、すぐに変化のパターンを覚えられる規則動詞です。とにかく文法は、最初からあまり細かい規則や変化にとらわれず、むしろ大まかな基礎構造をおさえた上で、できるだけ多くの基本文の暗記によって身につけることが大切です。

そのためにも、やさしい文法書を予めざっと通読しておくことは、今後の学習を大いに助けてくれるはずです。限られた時間で、一つの外国語を全体的に把握したい場合、文法書ほど便利なものはありません。ここでは、分かりやすさで定評のある文法参考書を何点か挙げてみますので、フランス語の先生のアドバイスも聞いた上で購入して読んでください。

清岡智比古『フラ語入門、わかりやすいにもホドがある！』（白水社）

島崎貴則、アテネ・フランセ編『新ゼロからスタートフランス語 文法編』（Jリサーチ出版）

数江譲治『フランス語のABC』（白水社）

東郷雄二『ニューエクスプレスプラス フランス語』（白水社）

田島宏編『コレクション フランス語③文法』（白水社）

久松健一『英語がわかればフランス語はできる！』（駿河台出版社）

これらはいずれも、初級文法を手際よくまとめていますので、その気になれば5月の連休までに通読することも十分に可能なはずです。このくらいの気構えのある人なら、1年後にはフランス語がきっと得意科目になっていることでしょう。ちなみに、1年間、音声面を含めて基本をしっかり勉強した人なら、「仏検」4級、ごく基本的な範囲を身につけた人でも5級に無理なく合格することができます。これらの資格は、近い将来、自分の履歴書に胸を張って書けるものでもあります。

<会話クラスについて>

日常的な生きたフランス語をマスターしようと思っている皆さんは、会話クラスを大いに活用してください。このクラスは基本的に、日本語にもよく通じたネイティブ・スピーカーの先生によって行われます。最初は日本語で説明がなされますので、フランス語が全く話せない人でも、意欲さえ十分にあれば安心して受講できます。さらに力をつけたい人は、国際学部開講の「実践文化演習c（語学集中 フランス語）」でネイティブ教員から集中的にフランス語の訓練を受けることができます。

授業中には、多少間違ってもかまいませんから、どんどん積極的に発言したり質問したりするよう心がけましょう。また、直接皆さんのクラスを担当していない場合でも、本学の専任教員（赤阪）はいつでも皆さんの質問に答えられるようにしていますので、遠慮なく質問に来てください。

<辞書について>

辞書は語句の意味を引くだけでなく、単語の発音や綴り字、動詞の変化や時制を調べることに使います。したがって、辞書は以下の点に注意して選びましょう。

- a 収録されている語の数が十分であるかどうか。
- b 例文や慣用句が豊富かどうか。
- c 説明が自分にとって見やすく、わかりやすいかどうか。

以下はフランス語を学ぼうとする初心者にふさわしいと思われる辞書の一部です。フランス語の授業で先生の説明を受けてから購入するようにしてください。

- ① 『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（第5版）（旺文社） 約45,000語収録。
- ② 『クラウン仏和辞典（第7版）』（三省堂） 約63,000語収録。
- ③ 『ディコ仏和辞典（新装版）』（白水社） 仏和約35,000語＋和仏7000語収録。
- ④ 『プログレッシブ仏和辞典（第2版）』（小学館） 約35,000語収録。
- ⑤ 『ロワイヤル仏和中辞典（第2版）』（旺文社） 約90,000語収録。

上記①～④の辞書はフランス語中級レベル、⑤は上級レベルまで対応していますので、将来フランス文学や哲学を学びたいと思っている人は⑤を、それ以外の人は①～④から選ぶとよいでしょう。

①～④には基本的な和仏語彙集が収録され、②には巻末に動詞の活用形索引があります。また、最新版の①にはPCやスマホからアクセスできるWEB辞書が付属しています。⑤には辞書データを収めたCD-ROMが付属し、Windowsパソコン上で辞書として使うことも可能です。

電子辞書で入手しやすいのは①か②ですが、初めて学ぶ外国語の場合、まずは紙の辞書から始めて慣れることをおすすめします。

なお、和仏辞典を使いたいという人のためには、『プチ・ロワイヤル和仏辞典』（旺文社）と『コンサイス和仏辞典』（三省堂）を挙げておきます。

<テレビ、ラジオ、インターネット、学外機関の利用について>

大学の授業をしっかり受けることは当然ですが、それと並行してNHKのラジオ講座やテレビ講座の視聴をぜひおすすめしたいと思います。大学の授業だけでは、時間的な制約からフランス語を聞いたり発音したりする練習がどうしても不足するからです。

今日では、インターネットや衛星放送でフランスのニュース番組やラジオ番組を視聴したり、フランスの最新情報を手に入れたりすることも容易ですので、自分から生きたフランス語にどんどん触れてみてください。

将来フランスに留学することを考えている人や、もっとフランス語の力をつけたいと思っている人は、学外の機関を利用するのも良いでしょう。京都では、フランス政府公認のアンスティチュ・フランセ関西（京都）をおすすめします。

<検定試験について>

身につけたフランス語の力を試し、資格として形に残すため、検定試験にチャレンジしてみましょう。国内でのフランス語検定試験として最も一般的なのは「仏検」（実用フランス語検定）で、専門的職業のレベルとされる1級から、準1級、2級、準2級、3級、そして第二語学として一年間勉強したレベルに相当する4級や、さらに基本的なレベルの5級までの7段階が設けられています。試験は春秋の年2回実施されています。また、国際的なフランス語力の資格としては「フランス国民教育省・フランス語資格試験（DELF・DALF）」も実施され、京都でも受験できます。

これらの試験で取得した資格は、履歴書にも記載できる公的なものです。自分の到達レベルを把握し、学習の励みとするためにも、積極的な受験をおすすめします。また、語学検定受験者はGLOBAL SQUAREから検定試験料の補助が受けられます。

<研修旅行について>

ヨーロッパ文化研修「ヨーロッパの宗教と文化（フランス）」（国際学部では「実践文化演習j」）では、事前・事後講義と現地での文化研修に参加することで2単位を取得できます（フランスは隔年開催）。参加希望者は、4月初めのオリエンテーション期間に開催される「国際交流科目説明会」に出席してください。

この研修に語学研修は含まれませんが、フランス語が話されている国とその文化を自分の目で見て、実際にフランス語を使わざるを得ない状況に身をおくことは非常に良い経験となり、帰国してからの意欲的学習につながることが多いのです。



モン・サン=ミシエルの干潟歩き



エッフェル塔を背景に

《文化研修「ヨーロッパの宗教と文化（フランス）」／「実践文化演習j」》

<GLOBAL SQUAREについて>

GLOBAL SQUARE（慶聞館1階）には、フランス語学習の参考書・問題集のほか、フランス映画を初めとしてフランス文化に関する視聴覚資料が備えられ、開室中はいつでも利用できます。渡航や留学関係の資料も揃っており、留学相談も受け付けています。

正課の授業以外でもフランス語を学んで力をつけたい学生の希望に応じて、ネイティブ・スピーカーとの会話機会を設けています。参加希望者はGLOBAL SQUAREで配布している資料をチェックしてください。

4. 中国語

古来より日本文化に多大な影響を与えてきた中国。その中国のことばとはどのようなものなのでしょうか？これから中国語の世界を紹介します。

<発音について>

中国語は聞いて美しい言語です。「小鳥が鳴いているようなことば」と形容されることもあります。それは4つの声調（トーンイントネーション）があるからです。

第一声	ā	高くのばす調子
第二声	á	下から上へあがる調子
第三声	ǎ	低くおさえる調子
第四声	à	上から下へさがる調子

この4つの声調の違いは、ことばの意味に深く関係します。例えばtāngという音一つでも、

第一声	tāng	汤	スープ
第二声	táng	糖	キャンディ
第三声	tǎng	躺	寝ころぶ
第四声	tàng	烫	やけどする

のように、声調が違えば意味が全く異なります。中国語学習は、まずこれら4つの声調をマスターすることから始まります。

<文字・記号について>

上の<発音について>で挙げた記号のついたアルファベット（例：tāng）は中国語の発音記号で「ピンイン（拼音）」といいます。ピンインの右にある文字（汤など）は中国（中華人民共和国）の漢字で、「簡体字（簡体字）」といい、日本の漢字とは形がやや異なります。もちろん「糖」のように、日本の漢字と全く同形の簡体字もあります。しかし、形は同じでも意味が異なるケースもありますから要注意です。現在では、簡体字の他に、台湾をはじめ、中華人民共和国の特別行政区である香港・マカオ及び他の中国語圏のコミュニティが漢字の「旧字体」、いわゆる「繁体字」を使用しています。

<日本の漢字> : <中国の簡体字> : <台湾の繁体字> : <中国語の意味>

娘	:	娘	:	娘	:	お母さん
他	:	他	:	他	:	かれ（彼）
走	:	走	:	走	:	歩いて行く
図	:	图	:	圖	:	絵、描く

<文法について>

中国語の文法は英語に似ていて「主語―述語―目的語」の順です。しかし、英語のような時制がありません。また、男性名詞・動詞の女性形などありません。その代わり中国語は語順がとても重要です。なぜでしょうか？

例えば日本語の話し言葉では、

○彼は私を愛してる。＝ ○私を彼は愛してる。＝ ○彼は愛してる私を。＝ ○私を愛してる彼は。

のように、「私」「彼」「愛する」を入れ替えても、助詞の「は」「を」を使うことによって、同じ意味合いの文になります。ところが、中国語では「我(=私)」「彼(=他)」「愛(=愛する)」の順を入れ替えると、意味が全く逆になったり、通じない文になってしまいます。

○他爱我。	≠	○我爱他。	≠	×他我爱。	≠	×我他爱。
Tā ài wǒ .		Wǒ ài tā .		Tā wǒ ài .		Wǒ tā ài .
彼は私を愛してる。		私は彼を愛してる。		(意味不明)		(意味不明)

中国語には日本語のような助詞の「は」や「を」がないため、代わりに語順がその役割を担っているからです。ですから中国語では語順が大切なのです。

<辞書について>

中国語の辞書は様々なものが出版されています。ここでいくつか紹介しておきます。

① 『はじめての中国語学習辞典』朝日出版社	約11,000語	CD(発音レッスン)付
② 『デイリーコンサイズ中日辞典』三省堂	約41,000語	コンパクトサイズ
③ 『東方中国語辞典』東方書店	約42,000語	イラスト・コラムが充実
④ 『中日辞典(第三版)』講談社	約87,000語	用例にピンインを付す
⑤ 『超級クラウン中日辞典』三省堂	約91,500語	中・上級者向け
⑥ 『中日辞典(第三版)』小学館	約10万語	写真・コラムが充実
⑦ 『中日大辞典(第三版)』大修館	約14万語	専門的語彙も含む

収録単語の数が多いほど、中級～上級向けとなります。みなさんが将来進みたい専門分野を見据えて購入することをおすすめします。

また、電子辞書もあります。ここでは中国語の辞書を搭載したモデルを中心に、数機種ピックアップしておきます。

・ Canon wordtankZ800	上記の⑥の第二版と⑦を収録
・ Canon wordtankZ900	上記の④と⑥の第二版と⑦を収録
・ CASIO XD-U7300	上記の⑥の第二版と⑦を収録
・ CASIO XD-K7300	上記の⑥の第二版と⑦と『中国語生活図解辞典』を収録
・ CASIO XD-SR7300WE	上記のCASIO XD-K7300の特徴以外に、初級から上級まで幅広くサポートするモデルです。中国語の学習はもちろん、海外留学、旅行、ビジネスにも対応できるコンテンツをもっています。

これら以外に、自分で中国語辞書カード(ソフト)を入れて使用できる機種も販売されています。

電子辞書にはインターフェイス・発音機能の有無・付属辞書(日本語や英語)など、それぞれ特長がありますから、自分の用途に合うものを選びましょう。また4月は新学期に備えて新機種が発売される時期です。

から、上記以外の機種も店頭では見られることでしょう。

スマートフォン等で使える電子辞書アプリも有料で販売されています。フリーアプリは間違いが多いためお薦めできません。



インターネットに接続できるのであれば、goo辞書やWeblio日中中日辞典のようなWeb辞書があります。これらを利用するには中国語を入力できるように機器類を設定する必要があり、OSにより設定方法がそれぞれ異なります。相応の知識がある人はチャレンジしてみてください。

電子辞書アプリにせよWeb辞書にせよ、いつでも手軽に引けるというメリットがある一方、授業中にスマートフォン等を弄る行為は好ましくないため、利用場所が限られるというデメリットがあります。

<開講科目について>

選択外国語には、初級・中級会話・上級会話などさらなるステップアップをはかる授業や、ネイティブ・スピーカーによる会話の授業、読解力を身につけるための授業、海外語学研修（後述）などが含まれます。さらに、国際学部開講の「実践文化演習d（語学集中 中国語）」でネイティブ教員から集中的に中国語の訓練を受けることができます。ことばを通して中国の歴史や文化にも触れられるような内容の授業を開講しています。

<検定試験について>

中国語学習の励みとなる検定試験を紹介します。将来、留学を考えている人や、中国と取引のある企業への就職を希望する人は、検定試験を目標に学習すれば、とてもよい刺激になるでしょう。なお、GLOBAL SQUAREでは語学検定試験料補助制度を設けています。

◎ 中国語検定試験

日本中国語検定協会が毎年3回実施する試験で、合格者は名簿に登録され、級別認定書が授与されます。日本で中国語能力を認定する検定試験です。

◎ 汉语水平考试（新 HSK）

中国政府教育部（日本の文科省に相当）が認可した、中国語を母国語としない中国語学習者のための中国語能力認定試験です。HSKの成績は、TOEFL同様、外国人留学生として中国の大学に入学する際の中国語能力の証明となります。以前は難易度がやや高かったのですが、2010年度より基準が見直され、受験しやすくなりました。日本国内でも受験できます。

◎ ビジネス中国語検定（BCT＝ 商务汉语考试）

中国経済の発展とグローバル化に伴い設けられた検定で、ビジネス分野のみに重点を置いて語学力を測る試験が行われます。BCT-A（初級）とBCT-B（中上級）があり、年4回試験があります。

＜海外語学研修＞

「中国文化事情・実践中国語」（国際学部では「実践文化演習g」、「実践文化演習h」）は、本学の協定校である首都師範大学（北京）または淡江大学（台湾）において、研修する授業です。本学で事前講義を受講した後、夏休みに3週間程度、協定校で学習します。

希望者は年度初めのオリエンテーション期間に開かれる「国際交流科目説明会」に参加して、今年度の詳細を確認してください。



《語学研修「実践中国語・文化研究1」（台湾）／「実践文化演習g」》



《語学研修「実践中国語・文化研究2」（中国）／「実践文化演習h」》

＜中国の文化に触れよう＞

外国語を学ぶには、その国のことをよく知ることも大切です。GLOBAL SQUARE(慶聞館 1 F)には映画を始めとした中国文化に関する視聴覚資料が置いてありますので、是非のぞいてみてください。なお、中国人または台湾人留学生アシスタントが定期的に在室する取組も実施していますので、語学の質問や留学及び中国文化全般について知りたいことがあれば、対応してくれます。また、京都を訪れる中国人が増えていますので、ことばを片言でも理解できれば、草の根の文化交流ができることでしょう。

5. 韓国・朝鮮語

韓国・朝鮮語は日本語ネイティブにとって最も習得しやすい言語です。いまや、K-POPや韓流ドラマなどを通じて、韓国・朝鮮語を耳にする機会が増えてきています。意味はわからなくても、歌を口ずさんだことがあるという人は少なくないのではないのでしょうか。

英語ではKoreanと称される言語が日本の学校教育では、韓国・朝鮮語、韓国語、朝鮮語、コリア語など複数の呼び名で呼ばれています。それは朝鮮半島がもともと一つの国、一つの民族であったにもかかわらず、1948年に大韓民国（韓国）と朝鮮民主主義人民共和国（朝鮮）の二つに分断されてしまったためです。朝鮮半島は日本にとって最も近い存在ですが、現在日本と国交があるのは韓国だけで朝鮮とは現在国交がありません。朝鮮にたいする情報が限定された状態では、日本と朝鮮との国交正常化へむけた努力がなされているという事実も案外知られていませんが、国交が正常化した暁には朝鮮半島とのコミュニケーション手段としての言語がますますクローズアップされてくることでしょう。朝鮮半島についての情報が、朝鮮半島の言語でどのように語られているのかを知ることも相互理解に大きく役立つことでしょう。

70年を超える分断の歴史を経た結果、同民族であっても、南の人々と北の人々が使用する言葉とは発音や文法の面で多少異なりをみせるようになってきました。そこで、本学では教育的立場と将来への展望という視点から、現在進行中の困難な政治的諸問題を教育現場に持ち込まず、また、韓国と朝鮮のどちらか一方を切り捨てたりしないという立場から、韓国・朝鮮語という名称を採用し外国語として教育しています。

韓国と朝鮮の言葉が違ってきているといっても、細かな発音や単語の種類、正書法に若干の違いがあるだけで、それほど大きな違いがあるわけではありません。韓国・朝鮮語が使われている地域としては、朝鮮半島はもとより、中国の延辺、日本、中央アジア、ロシア、アメリカなど広範囲に広がっています。

<文字について>

韓国・朝鮮語学習で一番不安に感じるのは「文字」でしょう。韓国・朝鮮語の文字はハングル（한글）といいます。アルファベットでない新しい文字を覚えられないといけない、丸や棒でできたハングルはまるで記号みたいだ・・・などなど、とても負担に感じる人もいるでしょう。でも大丈夫。コツさえつかめば早い人は2日ですべての文字を覚えることができます。ハングルの読み方はローマ字と似ていると考えてください。

가

この文字を読んで見ましょう。左半分が子音で右半分が母音です。母音は長い棒に短い棒がくっついた形になっています。ㄱはkの音、ㅏは母音のaです。ですから、가는カという音になります。

거

거となると、どうでしょう。ㄱはさっきkだといいました。ㅓはoです。なので거はコとなるわけです。子音と母音は左右に並ぶだけでなく上下にならぶ場合もあります。このとき、上にくるのが子音で下にくるのが母音です。

구

ㄱ(k)と ㅜ(u)を組み合わせたものなのでクと読みます。ここでも母音は長い棒（ただし横棒）になっていますね。

最低限覚えるべき子音と母音は以下のとおりです。

基本的な子音10文字 ㄱ ㄴ ㄷ ㄹ ㅁ ㅂ ㅅ ㅇ ㅈ ㅊ

基本母音 ㅏ ㅑ ㅓ ㅕ ㅗ ㅛ ㅜ ㅠ

これだけしっかり覚えれば、あとはすべて組み合わせであらゆる文字を読むことができるようになります。思ったより簡単でしょう？新しい文字を使いこなせるようになるのはとても面白く、素敵なことです。文字が読めるようになったら、駅や街中の表記のハングルを探して読んでみてください。バスや地下鉄の案内板にもハングルが隠れています。

<文法について>

韓国・朝鮮語は日本語を母語とする者にとって、最も学習しやすい言語です。

語順が日本語とまったく一緒なので、単語さえ覚えればあとは直感的に文章を作ることができるからです。

私 は 学生 です。
나 는 학생 입니다.

また、漢字熟語も日本語と大変似た使われかたをしているため、漢字の発音さえ覚えれば語彙力も飛躍的に伸ばすことができます。漢字の発音は基本的に1文字1発音です。

学 — 학 (発音はhak) 学校 — 학교
哲学 — 철학 大学 — 대학

<開講科目について>

韓国・朝鮮語の開講科目としては、初修外国語の他に選択外国語の科目として、韓国・朝鮮語読解（中級・上級）、韓国・朝鮮語会話（初級・中級）、韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級）があります。また、集中講義としての「実践文化演習 e（語学集中 韓国・朝鮮語）」では会話を中心に学ぶことができます。

<辞書について>

最近ネット上の辞書やSNSの翻訳機が身近な存在になってきました。気になることはすぐ調べることはとても大切です。LINEの「翻訳」アカウントやNAVERの「papago」を使ってみてもいいでしょうし、単にGo

ogleで「●● 韓国語」「●● 日本語」と検索するだけでも、意味を調べることができます。スマートフォンでハングルが打てるように設定しておきましょう。

紙の辞書もまた捨て難いよさがあります。ぜひ一冊身近においておきましょう。辞書をひくという行為が子音や母音の順番を確認する勉強になりますし、見開いたページで思わぬ発見をすることもあります。初心者には『コスモス朝和辞典』（白水社）などがひきやすくてよいでしょう。勉強が進んでものたりなくなってきたら『韓日辞典』（小学館）などの語彙の多いものへ進みましょう。まずは図書館で実物にふれてみてください。気になる項目をひいて、その前後の項目にも目を通してみましょう。

英和辞典の入った電子辞書の購入を考えている人は韓日・日韓辞書と一緒に入っているものを検討してみましょう。たとえば、ジーニアス英和辞典、デジタル大辞泉に小学館の朝鮮語辞典、日韓辞典、Dong-A韓韓辞典が入っているCASIO エクスワードだと、上級になっても使用に耐えます。

<検定試験と海外研修・留学制度>

a. 検定試験

日本で独自におこなわれている『「ハングル」能力検定試験』（年2回実施。以下、『ハングル検定』と略す。）と、韓国政府が外国人学習者向けに主催している『韓国語能力試験（TOPIK）』（年3回実施。以下、『TOPIK』と略す。）との2種類あります。

『ハングル検定』は朝鮮と韓国の両方の正書法を採用した試験で、『TOPIK』は韓国の正書法のみを採用しています。『ハングル検定』は1級から5級までで、1級が最高位です。『TOPIK』は1級から6級まであり、6級が最高位になっています。1、2級はTOPIKⅠ、3級から6級を目指す人はTOPIKⅡを受験してください。いずれも級をまたいだ併願も可能なので、より上の級をねらうことができます。本学では1年終了時で『ハングル検定』5級は取得できるだけの内容を学習します。2年終了時には『ハングル検定』4級程度の力が身につけているはずです。

b. 海外研修

選択外国語では、「韓国文化研究・実践韓国語」（国際学部では「実践文化演習ⅰ（韓国語学研修）」）が隔年で開講されており、韓国の慶熙大学国際教育院で、短期韓国語研修を実施します。前期に事前学習を15回受け、夏季休暇中の3週間、現地に行って韓国語学習と文化体験を受講します。韓国は日本にとって最も気軽に行ける隣国です。参加希望者は4月のオリエンテーション期間に実施される「国際交流科目説明会」に必ず参加し、予備登録をしてください。

c. 留学制度

大谷大学は東国大学校（ソウル・慶州）と東西大学校（釜山）、慶熙大学校（ソウル）と学術交流協定を締結しており、東国大学校と東西大学校とは交換留学制度が設けられています。

東国大学校は仏教研究において韓国で最も有名な大学ですが、その他の学科もすべてそろった総合大学です。ソウルキャンパスはソウル市のほぼ真ん中に位置しており、明洞や東大門からすぐのところにあります。また、慶州にあるWISEキャンパスは日本の奈良・京都とも比較される新羅の古都で、のどかな田園風景のなか由緒ある遺跡や遺物を身近に感じながら生活することができます。

釜山の東西大学校はIT関係や映画学、国際交流に力を入れている新進の大学です。新しく整った施設で気

持ちよく学習することができます。

韓国の大学でアカデミックな空気を吸いながら、より一層自分を磨きましょう。交換留学制度を利用した場合、留学期間中も在学としてカウントされるので、卒業時期を遅らせることなく4年間で卒業できます。個人での留学に比べて経済的な負担も少ないことも魅力です。

<担当教員よりひとこと>

外国語は苦手だと思っている人や使える言語をひとつくらい持ちたいと思っている人には韓国・朝鮮語がおすすめです。外国語学習にたいするイメージが変わることうけあいです。語学学習を通じて、知っているようで知らない隣国にたいする関心もわいてきます。

幸い、今の日本では韓流ドラマやK-POPを手軽に楽しめるようになっています。ドラマが好きな人はインターネット配信サービスやDVDでハングル字幕のついたものがあるので、探して見てみましょう。耳で聞いたセリフをドラマの主人公になったつもりで演じてみてください。短いものもいい人はバラエティ番組がおすすめです。生の会話に慣れるには人がしゃべっているのをそのまま真似するのが一番。「スーパーマンが帰ってきた」などの子供が出演している番組なら、会話の速度も比較的ゆっくりなのでおすすめです。音になれてくると聞き取りの力もぐんとアップします。

歌が好きな人はK-POPの歌を覚えてカラオケで歌ってみると面白いです。ドラマの挿入歌など、みんなが聞いたことのある曲を歌うと場がもりあがることでしょう。最近は、一般のカラオケにも韓国歌謡がたくさんはっていますよね。

インターネットやスマートフォンを使って韓国の人たちと直接交流する人も増えてきました。InstagramやFacebookは韓国でも盛んですし、個人的なやりとりにはカカオトークがよく使われています。言葉に自信がなくても翻訳アプリや翻訳サイトをうまく利用しながら、いろいろチャレンジしてみてください。韓国に友達ができると一層勉強に熱が入ります。語学エクステンジアプリHello Talkは質問があればネイティブスピーカーが答えてくれるので、利用している人も多いようです。

また、外国にわざわざ出かけなくても、朝鮮半島の文化に触れる機会は日本のなかにもたくさんあります。大阪生野のコリアタウンや鶴橋の国際市場を散策するだけでも朝鮮半島の文化や言葉に触れることができますし、京都の東九条や大阪、神戸の各地域で開催されているマダンと呼ばれる民族文化祭では在日コリアンと日本人やその他の民族の多文化共生、南北統一や平和祈願がテーマとなっており、朝鮮半島の食や文化を楽しむことができます。

大阪にある韓国文化院（〒530-0044 大阪府大阪市北区東天満1丁目1-15、<https://www.k-culture.jp>）は図書室や映像資料室を備えており、韓国語の書籍や映像資料を貸し出しています。そのほかに展覧会や講演会などの各種イベントや文化教室が常時開かれているので参加してみると楽しいですよ。オンライン講座やオンライン公演も充実していますので、まずはWebサイトをのぞいてみてください。東京にある駐日韓国文化院のサイト（<https://www.koreanculture.jp>）もおすすめです。カバーダンスやスピーチコンテストなども開催しています。京都韓国教育院でも文化講座や韓国語講座が開催されています。（<http://kyoto.kankoku.or.kr/jp/>）2020年度の韓国語スピーチ大会では大谷大学の学生が最優秀賞を獲得しました。

韓国・朝鮮語は韓国でしか使うことがないんじゃないかと思っている人、そんなことはありません。いろんな国にコリアンタウンがありますし、海外に出ると韓国・朝鮮語がびっくりするようなところで役立つことがしばしばあります。

韓国・朝鮮語を学んで自分の世界を広げましょう！

《語学研修「実践韓国・朝鮮語・文化研究・実践韓国語」／「実践文化演習ⅰ」》



みんなでサブギョブサル



ハングルを創成した世宗大王像の前で

6. 視聴覚教材利用のすすめ

外国語学習においては、「聴く」「話す」「読む」「書く」という四技能を総合的に伸ばすことが大切です。このうち音声に関わる「聴く」「話す」技能の基礎をつくるには、学習開始から数カ月間の、集中的音声学習が決定的に重要です。また外国語の音韻体系の基礎を身につけた後、自然速度レベルに達しそれを維持するために、引き続き何年も段階を追った音声学習が必要です。日本の多くの学習者は、英語学習においてこれらの練習が不十分なまま、新たな外国語の学習においても同じ道をたどる危険があります。

このような事情を考え、本学ではCALL (Computer Assisted Language Learning) 設備をK313・K315教室に備え、かつすべての外国語授業でCDが使用できるよう機器を揃え、またネイティブ・スピーカーによる外国語会話授業の充実をはかっています。

音声重視の外国語授業も、それだけで学習者の身についた語学力を生み出すことはできません。それには授業以外でも自主的な大量練習が必要であることは、スポーツ、音楽等と同じです。本学では、GLOBAL SQUAREや図書館1階のAVコーナーに様々な視聴覚教材が用意されていますので、積極的に利用してください。

IV. 語学学習支援室（GLOBAL SQUARE）利用のすすめ

外国語を身につけたい、留学したい、留学生と交流したい学生はGLOBAL SQUAREを積極的に利用してください。

ネイティブ・スピーカーとの会話機会や、留学支援、留学生との交流イベントなどを実施しています。英語、韓国・朝鮮語、中国語、ドイツ語、フランス語に関する資料や検定試験情報や、各種国際交流イベント、奨学金情報、留学情報、渡航関連情報、各国のビザ情報も提供しています。

<開室時間>

10:00～17:30 月曜日から金曜日

休暇・大学行事等により開室日時が変更になることがあります。

開室日時の詳細は、GLOBAL SQUAREのホームページで確認してください。

<場所>

慶聞館1階

<支援プログラム>

①留学支援

留学説明会や個別の留学相談を通じて、留学全般に関する情報提供と相談を行っています。

在学中に可能な留学パターンや本学の留学制度の詳細（留学助成金や帰国後の単位認定など）、学術交流協定校に関する情報、留学の時期・期間、留学助成金などについて知ることができます。

- ・個別留学相談
- ・留学説明会（年2回）
- ・留学出発前オリエンテーション
- ・危機管理オリエンテーション

②ネイティブ・スピーカーとの交流

ネイティブ講師との会話練習や留学生アシスタントが在室する時間を設けています。外国語で会話したり、気軽に交流ができます。

また、留学生と在学生との交流を目的として、イベントを開催しています。

- ・Speak up！など

留学生アシスタントの在室時間や留学生との交流イベントの詳細は、GLOBAL SQUAREの掲示やホームページで確認してください。

③語学検定試験料補助制度

英検やTOEICなど、外国語能力を客観的に測定する「検定試験」があります。語学学習に取り組む学生へのサポートの一環として、語学検定試験を受験した学生に対し1,000円分の図書カードを、または、大学が定める基準を満たす場合には検定試験料全額を補助する制度を設けています。1年間に2回まで申請可能です。積極的に活用してください。

補助を申請するためには、検定試験料の領収書などが必要です。

申請手続・制度に関する詳細はGLOBAL SQUAREカウンターでお尋ねください。

④E-learning

英語のE-learning教材を提供しています。

<図書・資料・E-learning>

外国語についての資料を利用できます。資料などの利用については、GLOBAL SQUAREカウンターでお尋ねください。

- 語学検定試験対策問題集
- 外国語関係の参考書
- 留学情報誌
- 外国語の映画など

<その他>

交流イベントの企画・実施や留学生のサポートをする、学生のアシスタントが活躍しています。アシスタントの募集は、年1～2回行います。興味のある方は、GLOBAL SQUAREカウンターでお尋ねください。

語学学習や国際交流、留学に興味のある方は、気軽にGLOBAL SQUAREを利用してください。

E-mail g-square@sec.otani.ac.jp

URL <https://www.otani.ac.jp/kouryu/index.html>

(大学ホームページ キャンパスライフ>国際交流/語学学習>国際交流/語学学習TOP)